

# お能ってなあ〜に？

## おもしろ講座

### 2014 冬から春

場所・豊中不動尊

お能は難しく考えずに心で感じて楽しむもの…いつもご紹介させていただいてきましたおもしろ講座。冬から春へとかけての催しも、楽しく面白くを目指して工夫をこらしました。是非お出かけください。

1月19日(日) 作りもの制作実演講座  
10:00~12:00 14:00~16:00

能舞台上で使う大道具を作りものと言います。何世紀もの間脈々と引き継がれた伝統の形…。作りものは、舞台上を上演する能楽師の手で一つ一つ作られているのです。そんな作りものを作ってみましょう。  
できあがった“作りもの”は恒例の不動尊、桜能「安達原」の舞台に上ります。

2月16日(日) 現代作法を学ぼう  
10:00~12:00 14:00~16:00

**要 申し込み** 講師 日本現代作法会会長 寒川由美子先生  
わからないけれどもまさら聞けない…作法にお困りのご経験はないでしょうか？ 日々の暮らしにすぐに役立つ、現代にマッチした作法を優しくわかりやすく解説してもらえます。(お菓子とお茶がつき、いただき方も学べます。)  
**事前申し込み必要** 裏面のファックス欄をお使いください。締め切り2月10日

3月16日(日) 能面を作ってみよう  
**要 申し込み** 14:00~16:00  
講師 能面師 鳥畑英之

能面色付けをやってみましょう。本物の能面から型をとった軽量紙粘土の能面を美しく彩色しましょう。実際にかぶれる面が出来上がります。  
能面土台はご用意します。  
**事前申し込み必要** 裏面のファックス欄をお使いください。締め切り2月10日

4月6日(日) 「安達原」を読む  
14:00~16:00

講師 国際高等研究所副所長 大阪大学名誉教授 天野文雄先生  
能楽「安達原」(2015年 不動尊桜能演目)の解説を、能楽研究で第一人者の天野先生に深くご説明いただけます。知ると安達原の世界が何倍にも広がります。

全て一講座1000円。1月19日(日)「作りもの制作実演講座」と4月6日(日)「安達原を読む」は事前申し込みは要りません。当日会場においでください。



## お能ってなあ〜に?実行委員会とは?

お能は堅苦しく考えず、心で感じて楽しんでほしい…観世流能楽師シテ方山本博通氏の呼びかけで始まった、能楽に親しみその普及を目指すボランティア団体です。600年の歴史を持つ能。世界に誇れる日本の文化。しかし能ももとはは芸能として「楽しむ」ためにはじまったもの。その世界を身近に味わおうと様々な企画を実施しています。

## 会員募集中

豊中不動尊の能舞台、紫苑閣で活動。何か楽しい企画がないかと話したりお茶を飲んだりたまには飲み会をしたり…時間のある時に気楽な気分が集まって楽しみつつも能楽の明日に尽くす、気軽でのんびりとした会です。会に入って初めてお能を見たという初心者も、「MY能」を胸を張って語れる自由さが魅力!ぜひ!!一度いらしてください。

ご興味をお持ちいただけましたら、  
<http://yuugen.net/>のメールから、または、06-6849-1258(山本)にお電話を! 学生さんも大歓迎です。みなさん、「私の能」を見つけてください。



実行委員会代表幹事。  
地元(豊中南部)の自治会長も務める…つまり筋金入りのいい人。面倒見のよさは抜群!  
鳥畑さん



お能にはとても詳しい。でもそういうところを見せずにビギナーが好きなことを言っているのをここにこいて聞かれる本当に優しい人。大和撫子に見えるけど、原付に乗って颯爽と…  
サチエさん



アニキ…居ればほつとする会の兄貴分。つついなついてしまいたくなるあつたかい人。ゴルフラブです。クマ兄さん



山本博通氏のピンチに駆けつけてくれる同業者。能楽界のホットな系を感じます。(ゴルフ友達でもあるらしい)ゴルフ大好き。クマ兄さんと三人で盛り上がること…



困ってる人をほつけない人情家のマッキーさんはおしゃれさんでもある。玄関に男子高校生が履くみたいなお靴があったらマッキーさんが来てる証拠。



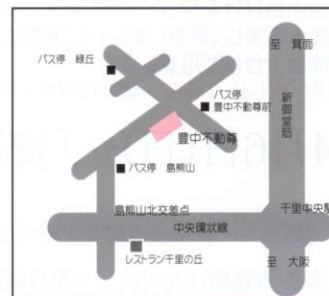
口の減らない、ザ・ビギナー。お能って、何にも知らなくても楽しめます。感じばいいらしい…太っ腹だなあ…。 MICHII ^.^  
その他、色々なメンバーがいます。

安達原 (平成26年 第7回鳥熊山桜能演目)

那智の修験者 祐慶は、諸国修行の旅の道すがら陸奥の国、安達原で夕暮れを迎えます。宿に困り同行の弟子たちと共に一軒だけあるあばら家に一夜の世話を乞います。対応に出た老女は一度は拒みますが困り果てた祐慶らを憐れみ宿を提供します。部屋の片隅に見慣れない道具を見つけ「それはなにであるか?」と尋ねた祐慶に、老女は「貧しいものが用いる糸繰り道具である」と応え糸を繰る様子を見せつつ糸繰り唄を歌います。哀調を帯びたその歌に自らのつらい過去をことよせしみじみと語ります。祐慶たちのために寒さを防ぐ薪を取りに行くという老婆は留守の間に自分の部屋を見ないようにと頼みます。しかし祐慶の弟子は師匠の制止を破り老婆の部屋を覗きます。そこには山と積まれた人の死骸が…鬼女であることを暴かれた老婆は、恥じて本性をむき出しに祐慶たちに襲いかかります。

豊中不動尊寺  
<http://www.fudouon.jp>  
06-6854-1692  
地下鉄 御堂筋線 千里中央駅からのバス  
(9・10・45・49系統)豊中不動尊前下車すぐ  
モノレール 少路駅より徒歩10分

お問い合わせは06-6849-1258(山本)または、下記のホームページ内メールにて  
お能ってなあ〜に?ホームページ  
<http://yuugen.net/>



FAX番号 06-6849-1258 お申し込み用ファックス (切り離さずにファックスしてください。)

お名前	お電話番号
様	人
お申し込み講座に○をしてください。 <input type="checkbox"/> 2月16日「現代作法を学ぼう」 <input type="checkbox"/> 3月16日「能面を作ってみよう」	